

【2025年6月本委員会検討経緯】…創作手話(新規)…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

	用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1	メンタルヘルス	直訳すれば「心の健康」を意味する。世界保健機関(WHO)では「自身の可能性を認識し、日常のストレスに対処でき、生産的かつ有益な仕事ができ、さらに自分が所属するコミュニティに貢献できる健康な状態」と定義している。(アドバンテージジャーナル)		北海道	●	「メンタル」＋「元気」	● 組み合わせ	「心の健康」と表現する案が多く、＜健康＞の表現を確認し、両手拳を1回力強く下ろす表現とした。 ⇒＜心B＞(右手人差指で左胸に通作円を描く)＋＜生きる＞(＜健康＞の2動作目) ※関東班・北信越・近畿班・九州班の案を参考
				東北	●	左ゲンコツ「命」＋右の指文字で「メ」まわす		
				関東	●	心 / 元気		
				北信越	●	「心」＋「健康」		
				東海	●	心 ＋ 保健(わたしたちの手話P.474)		
				近畿	●	心 ＋ 元気		
				中国	●	① 心臓 ＋ 医師 ② 心臓 ＋ 大事		
				四国	●	/メンタル(Ⅱ270) /ヘルス(Ⅰ23)		
				九州	●	心 ＋ 健康		
2	水を差す	① 水を加えて薄くする。 (例:「鍋に水を差す」など) ② 仲のいい者どうしや、うまく進行している事などに、わから邪魔をする。 (例:「二人の仲に水を差す」など) (デジタル大辞泉(小学館))		北海道	ア	「右手」を手前に出す ＋ 「左手」を手前に出す ＋ 両手の間に「言う」	ア アレンジ	仲の良い者同士や、うまく進行していることなどに、わから邪魔をする意味の表現として、＜割り込み＞の1動作目を採用した。 ⇒全指を軽く曲げた両手甲側を付け合わせ、左右に引き離す (＜割り込み(コピー機用語)＞の1動作目) ※関東班②・北信越班②の案を採用
				東北	◎	コップをひっくり返し ＋ 右手で「終わり」		
				関東	①● ②保	① 水/(コップに)注ぐ/混ぜる ② 4指を下向きに折り背を付け合わせて左右に開く		
				北信越	ア	①「水」＋注ぐしぐさ ② 割り込むしぐさ		
				東海	●	邪魔 ＋ (二人を)分ける		
				近畿	ア	H15年度報告の単語表現を一回り小さく表現		
				中国	●	割り込み ＋ 壊す		
				四国	●	/間に入る様子/両方を分けて止める様子		
				九州	保	両手でわける		
3	アトリウム	ガラスやアクリル板などの明かりを通す素材で屋根を覆った大規模空間のことで、「内部公開空地」とも呼ばれる。光は通すものの外部とは遮断されており、主にホテルのエントランスなど大規模商業施設で使われることが多い。光井のような狭い空間は含まず、あくまでも広場的な広がりを持つものだけを指す。 もともとは古代ローマ時代の住宅建築方法のひとつで、建物の玄関奥に位置していた。周囲を居室で囲い、天窓のある石畳の空間のことを指している。 (東建コーポレーション 建築用語辞典)		北海道	ア	左手を横に立てる ＋ 指文字「あ」で半円を描く	● 組み合わせ	指文字「あ」と屋根の手話表現を組み合わせる案、「透明な屋根」の表現案が出された。＜透明＞の表現は必要と判断し、以前創作した＜アーケード＞と組み合わせた。 ⇒＜透明＞＋＜アーケード＞ ※北信越班・東海班・中国班の案を参考
				東北	◎	左手「家」＋ 右の指文字で「ア」で丘を描く		
				関東	◎	頭上に両手で屋根 / 左手残しすばめた右手を頭に向け開く		
				北信越	ア	「透明」＋ 指文字「あ」でドームを表す		
				東海	●	場所 ＋ (上部が)透明		
				近畿	◎	屋根のアーチを両手で表現		
				中国	●	屋根 ＋ 透明		
				四国	○	左手で建物を示し、右手で/あ/アーチをつくる		
				九州	●	ガラス ＋ 指文字「あ」でドームを表現		
4	ブラックフライデー	米国の感謝祭(11月の第4木曜日)の翌日の金曜日を指し、この日に大規模なセール(安売り)が行われることをいう。(S MBC 日興証券) 日本では、2016年に大手スーパーのイオンがブラックフライデーセールを実施したことがきっかけで、それ以来、他の小売店やECサイトでも実施するところが増え、その業種も広がってきつつある。		北海道	●	「黒」＋「値下げ」(斜めに下げる)	<バーゲン> ア アレンジ <ブラックフライデー> ● 組み合わせ	<バーゲン> ⇒<バーゲンセール>(値を下げる＋売る)の①のみ <ブラックフライデー> ⇒<金曜日>＋<バーゲン> ※北海道班・中国班・九州班の案を参考
				東北	●	「黒」＋「金曜日」		
				関東	●	黒 / 金曜日		
				北信越	●(保)	黒 ＋ 金 (実際に、ろう者が使っている手話)		
				東海	●	黒い ＋ 金曜日		
				近畿	●	黒 ＋ 金曜日		
				中国	●	黒 ＋ セール		
				四国	●	/黒/金曜日		
				九州	●	黒 ＋ セール(両手)		
5	反乱	権力や支配者に背いて武力行動を起こすこと。 (例:「反乱を鎮める」など) (goo国語辞書)		北海道	ア	左手「1(人差し)」に「反対」(右手)	● 組み合わせ	いずれの班も「反対」を使った表現。多くの班が提案した表現を採用した。 ⇒<反対>＋<混乱> ※近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
				東北	●	「反対」＋「逆」		
				関東	保	反抗 / 立てた左手親指を倒しながら開いた右手を前に出す		
				北信越	●	「反抗」＋「混乱」		
				東海	●	反対 ＋ 戦う(1本指)		
				近畿	●	反対 ＋ 乱れる		
				中国	●	反対 ＋ 揉める		
				四国	●	/反対/混乱		
				九州	●	反対 ＋ トラブル		
6	あらすじ	漢字で「粗筋、荒筋」と書かれるように、大まか、大雑把なストーリーという意味。 これから読む人がストーリーの内容を短い時間で理解するものにしていないといけないので、内容の大切な部分以外は削る必要がある。 (相談できる冊子印刷)		北海道	ア	左腕に右手を3ヶ所おく ＋ 「説明」	● 組み合わせ	<まとめる>を使う表現と<経過B>を使う表現が見られた。ことばの意味に近い<まとめる>を採用し、<物語>と組み合わせた。 ⇒<まとめる・統合・総合・つまり・要するに・総務・概要>＋<物語> ※東北班・中国班の案を採用
				東北	●	「まとめる」＋「話す」		
				関東	●	経過 / 書く		
				北信越	●(保)	「おおまか」＋「流れ」(実際に、ろう者が使っている手話)		
				東海	●	まとめる ＋ 流れ(ストーリー)		
				近畿	保	経過 ＋ 物語		
				中国	●	まとめ ＋ ストーリー		
				四国	●	/物語/まとめる		
				九州	●	流れ ＋ ポイント		

7	台本	演劇・映画・放送などで、演出のもととなる、せりふやト書きなどを書いた本。脚本。 (goo国語辞書)	<シナリオ(新IV-98・学II-201)>にラベル追加でいい? 「脚本」…標準手話無し	北海道 ● 「シナリオ」 + 「本」 東北 ● 左から右へ移動しながら、左手「一」の下で、右手「説明」 関東 ● 劇 / 書く 北信越 △ シナリオ 東海 △ (学校の手話129 P.86) シナリオにラベル追加 近畿 △ 「シナリオ」の手話 中国 △ シナリオ 四国 △ /シナリオ/ 九州 △ シナリオ	● 組み合わせ	多くの班から<シナリオ>の案が出された。 <シナリオ>と区別するために<本>と組み合わせることにした。 ⇒<シナリオ>+<本> ※北海道班の案を採用
8	怪文書	怪文書の内容は多岐にわたる。会社や社員、家族に対する中傷や誹謗から、選挙運動中のネガティブキャンペーンまで、様々な種類が存在する。 一昔前までは、手紙や印刷物を張り出すなどの方法で怪文書がばらまかれることが多かったが、近年はスマートフォンの普及に伴い、メールやSNSなどでも怪文書が拡散されやすくなった。(株式会社ビ・アイ・オ)		北海道 ● 「おかしい」 + 「文章」 東北 ● 「疑う」 + 「文章」 関東 ◎ 左手で顔を隠す / 右手掌上向きで差し出す 北信越 ● 「傷つける」 + 「文章」 東海 ● 不思議・不審 + 文 近畿 ア 読む + 怪しい 同時に表現 中国 ● 怪しい + 文 四国 ● /怪しい/文章 九州 ◎ 非利き手の人差し指をたて、利き手でひく + 文	<怪文書A> ● 組み合わせ <怪文書B> ● 組み合わせ	<怪文書A> ⇒<疑う・胡散くさい・疑わしい>(2指を顎にあてる)+<文章>(縦) ※東北班の案を採用 <怪文書B> ⇒<疑う・胡散くさい・疑わしい>(2指を顎にあてる)+<文章B>(横) ※東海班の案を参考
9	柔軟(考えなど)	① やわらかく、しなやかなさま。 (例:「柔軟な身のこなし」など) ② 一つの立場や考え方にこだわらず、その場に応じた処置・判断のできるさま。 (例:「柔軟な態度」「柔軟に対応する」など)		北海道 ● 「考え」 + 「やわらかい」 東北 ア 「柔らかい」 関東 ◎ 考え / 向い合せた両手を左右に開く(広げる) 北信越 △ 柔らかい 東海 ● 頭 + 柔らかい 近畿 ● 考え + やわらかく 中国 △ 柔かい 四国 ● /思う/やわらかい 九州 ● 思う + やわらかい	△ ラベルの追加	9班の動画を見ると<柔らかい>を左右に離している表現が多いが、標準手話は同じ位置で表す。また、<思う><考え>はつけずシンプルに。 ⇒<柔らかい>と同じ(同じ位置) ※東北班・北信越班・四国班の案を採用
10	杓子定規	曲がっている杓子の柄を定規にするということから、正しくない基準によってものをはかるうとすること。 転じて、なにもかも同じ基準や考えによって物事をはかるうとすること。融通のきかないこと。形式主義。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典)		北海道 ● 「考え」 + 「きちんと」 東北 ● 「考える」 + 「真つすぐ」 関東 ● 規則 / 同じ、その通り 北信越 保 指文字「も」を2回(相変わらずの手話を片手で強めに表現) 東海 △ 頑固にラベル追加(わたしたちの手話P.77) 近畿 ○ 真面目 + 硬い 中国 ● 無視 + 進む 四国 ア /ルール/ を間隔を狭め斜め下にむける 九州 ● 思う + 重い石(胸のところで)	● ア アレンジとの組み合わせ	・考え+まっすぐ ・決めるC(2指)+まっすぐ ・決めるC+その通り で意見がわれた。採決の結果、2つ目を採用することに。 体の前で表すと自分のことのように見える。他人のことをいうので前方で表すのが大事。 ⇒前方で<決めるC>(2指)+<直進(まっすぐ)・不返転・スプリント(カヌー)> ※東北班の案を参考
11	(歌番組などの)トリ	「出番が最後の人」を意味し、落語の世界から誕生した言葉。 昔の落語界では、「寄席の最後の出演者である“一番上の落語家”が取り分を決める」という独自のシステムがあり、最後の出番の人がその日の寄席の収益をすべて回収し分配していたことから、「取る分を決める最後の人」を略して「トリ」と呼ばれるようになったと言われている。(ラジオ関西トピックス)		北海道 ● 「最後」 + 「表す」 東北 ● 「最後」 + 「顔を出す」 関東 ◎ 最後 / 顔を出す 北信越 ● A 最後 + 鳥(羽ばたく) B 最後 + 顔を出す Aは地元でよく使う手話だが意味を考えるとBかな・・・ 東海 ア 最後(わたしたちの手話P.392)の動きの向きを下の方にする 近畿 ● 最後 + 役割 中国 ● 最後 + 責任 四国 ● /最後(ゆっくり表現する)/親指を上にあげる 九州 ● 最後 + 有名	<顔を売る・顔を出す> △ ラベルの追加 <(歌番組などの)トリ> ● 組み合わせ	<顔を売る・顔を出す> ⇒<売名>と同じ <(歌番組などの)トリ> ⇒<最後・究極・まで・既遂・安芸>+<売名・顔を売る・顔を出す> ※東北班・関東班の案を採用
12	猛威(または「猛威を振るう」)	「猛威」…すさまじい威力。猛烈な勢い。 (例:「流感が猛威をふるう」「自然の―猛威」など) (goo国語辞書) 「猛威を振るう」…ものすごい勢いで力が及ぶということ。多くの場合は、疫病や自然災害など、害をもたらすような場合に用いられる。 (例:「台風が猛威を振るう」など) (語彙力.com)		北海道 ア 両手で「凄い」 東北 ア 「すごい」 関東 ● すごい/広がる 北信越 △ パワー 東海 ア 力(1本指ではなく5本指で強く表現) 近畿 保 状況に応じて①うでパワー②(顔の近くで)すごい③非常に 中国 △ パワー 四国 ● /すごい/広がっていく様子 九州 保 すごい(腕)	ア アレンジ	<力(ちから)>は右手1本指で表すが、より強い表現として5本指で表すことに。 ⇒5指を曲げた右手で<力>(ちから)の動作 ※北信越班・東海班・中国班の案を採用

13	脅威	強い力や勢いでおびやかすこと。また、おびやかされて感じる恐ろしさ。 (例:「戦争の脅威にさらされる」「脅威を与える」「脅威を感じる」など) (goo国語辞書)		北海道	ア	「怖い」＋ 怖いをそのまま後ろに下げる	△ ラベルの追加	⇒<こわい・スリラー・臆病・畏怖させる・震撼A>と同じ(足がすくむ) ※北海道班・九州班の案を参考
				東北	ア	両手「驚く」		
				関東	保	「不安」の手話を喉元まで引き上げる		
				北信越	●	「影響」＋「怖い」		
				東海	ア	恐ろしい(わたしたちの手話P.277)に肩の動きを追加		
				近畿	◎	恐ろしい(胸に手をあてて)		
				中国	●	抑える		
				四国	●	/こわい/広がっていく様子		
14	感染爆発	「オーバーシュート」や「ロックダウン」というカタカナ語まで登場したので分かりにくくなったが、「感染者数の爆発的な増加」の略称。 2024年～2025年の冬は「インフルエンザ」「新型コロナウイルス」「マイコプラズマ肺炎」の3つが同時に流行する可能性が高く、この3つの感染症が同時流行する「トリプルデミック」と呼ばれる状況が懸念されている。 (菅ヶ谷医院)	<オーバーシュート(2021-77)> または <パンデミック(2021-76)> のラベル追加？	北海道	△	「オーバーシュート」にラベル追加	● 組み合わせ	<オーバーシュート(感染＋拡大)>、<パンデミック(病気＋左[さ(立てる)]に右掌を叩きつけて前に出す)>の2つの案が出された。 ⇒<感染>(うつす)＋勢いよく<広がる> ※東北班の案を採用
				東北	●	「感染」＋「広がる」		
				関東	△	「オーバーシュート」(コロナ関連用語P26)		
				北信越	△	オーバーシュート		
				東海	△	パンデミックにラベル追加		
				近畿	△	パンデミックの手話にラベル追加		
				中国	●	感染 ＋ 流行		
				四国	●	/感染/爆発		
15	ありがた迷惑	人の親切や好意が、それを受ける人にとっては、かえって迷惑となること。また、そのさま。 (例:「ありがた迷惑な話」など)		北海道	ア	「ありがとう」＋ 迷惑な表情で顔を左に向ける	ア アレンジ	<ありがとう>＋顔をそむける か、顔をそむけて<ありがとう>に意見がわかれた。採決の結果、前者を採用することに。表向きは普通に「ありがとう」といい、心では迷惑と思っている表情で。 ⇒<ありがとう>に続けて顔をそむける(<ありがとう>のアレンジ) ※北海道班の案を採用
				東北	●	「助けられる」＋「不要」		
				関東	保	助けてもらう / 迷惑		
				北信越	●	「ありがとう」＋「迷惑」		
				東海	ア	ありがとうに迷惑そうな表情を追加する		
				近畿	●	ありがとう ＋ 迷惑		
				中国	●	逆 ＋ 迷惑		
				四国	ア	迷惑そうな表情で/ありがとう/		
16	位置づけ	「全体の中で、特定の要素が持っている役割や意義、または期待されている働きや機能」などを幅広く指す言葉。	【連盟より】<位置づけ(新IV-145・学Ⅱ-473)>はあるが、「ろうあ運動における手話サークルの位置づけ」などの場合を検討してほしい。	北海道	△	「位置づけ」ラベル追加	△ ラベルの追加	⇒<責任・役割・担当・管掌・所轄・所管>と同じ ※関東班・近畿班の案を採用
				東北	●	左で「場所」＋右人差し指を付ける		
				関東	△	「責任、担当」(学習辞典ⅠP498)		
				北信越	△	(両手で)「担う」		
				東海	△	立場にラベル追加		
				近畿	△	役割(ラベル追加)		
				中国	×			
				四国	●	/場所/付ける		
17	就職氷河期	バブル崩壊後の、新規の学卒採用が他の年代とくらべてとくに厳しかった時期のこと。具体的な時期は1993～2004年ごろで、景気の冷え込みが長く続いたことを「氷河」にたとえている。(リクルート)	<氷河(新IV-88・学Ⅱ-397)>はあるが意味が異なる。	北海道	●	「仕事」＋「行き止まり」2回＋「間A」	<就職A> 保存手話 <就職B> アレンジ <就職氷河期A> 組み合わせ <就職氷河期B> 組み合わせ	<就職支度金>などのラベルはあるが「就職」の単独ラベルが無いので、まずは作って、それぞれ組み合わせることに。 <就職A> ⇒<就職支度金>の①②(右手つまむ) <就職B> ⇒<就職(学Ⅱ-466)>の表現(両手人差し指で入るの漢字) <就職氷河期A> ⇒<就職A>＋<行き詰まる(行き止まり)・袋小路・手詰まりB>を2回＋<間A・期間> <就職氷河期B> ⇒<就職B>＋<行き詰まる(行き止まり)・袋小路・手詰まりB>を2回＋<間A・期間> ※それぞれ班の案を参考
				東北	●	「仕事」＋「困る(指先を額につける)」		
				関東	●	仕事 / 八方塞がり / 間		
				北信越	●	「仕事」＋「断られる・断られる・断られる」＋「期間」		
				東海	●	仕事 ＋ ぶつかる(2回) ＋ 期間		
				近畿	●	仕事 ＋ なかなか ＋ 期間		
				中国	●	仕事 ＋ 採用 ＋ なかなか ＋ 期間		
				四国	●	/仕事/入る/なかなか/間/		
18	連結	ひと続きになるようにつなぎ合わせること。 (例:「機関車に貨車に連結する」など) (goo国語辞書)		北海道	●	「伝える」続けて2回	ア アレンジ	列車の連結器のように、2つのものをつなぎ合わせる表現とした。 ⇒<必ずA・約束・予約・必須・必修・定める>の手形で右手を振り下ろしてがっちりとし組み合わせる(<必ずA>のアレンジ) ※四国班の案を採用
				東北	●	曲げた両手2指の指先を組み合わせる		
				関東	◎	「繋がり」を横に水平に動かす		
				北信越	●	両手4本指で繋げる(列車の連結器をイメージ)		
				東海	◎	列車の連結器がくつつくイメージで「組む」		
				近畿	ア	「口」の指文字を互いにつなぐ		
				中国	●	拳と拳 ＋ 繋ぐ		
				四国	ア	両手指先をがっちりつなぎ合わせる		
				九州	保	結ぶ		

19	突貫工事	短期間で一気に完成させる、コストを度外視したスピード優先の工事のことを指す。建築や土木だけでなく、ビジネスにおけるタスク処理などで「スピード最優先で仕上げた作業や仕事」を意味する言葉として使われている。品質を無視して、とにかく完成させることを最優先にした「やつつけ仕事」とは異なり、スピード優先・コスト度外視で行われるものの、高品質な仕事を表す。 (小学館タイム公式サイト「@DIMEアットタイム」)		北海道 ● 「早い」＋「工事」 東北 ● 「短い」＋「作る」 関東 ● 早い / きちんと / 工事 北信越 ● 「速い」＋「工事」 東海 ● 短い (強調) ＋ 工事 (わたしたちの手話 P. 26) 近畿 ○ 両手で期間を縮める ＋ 工事 中国 ● 急ぐ ＋ 仕事 四国 ● /スピード/優先/工事 九州 ● 工事 ＋ スピード	<短期間・縮める(期間など)> アレンジ <突貫工事> ● 組み合わせ	9班の案で「早い」「急ぐ」「短い」などがあるが、手抜き工事のように見えるのでは？ 短期間でもきちんとした仕事することなので、近畿班の表現が意味に合う。 <短期間・縮める(期間など)> ⇒<間A・期間>の右手を左に寄せる (<間・期間>のアレンジ) <突貫工事> ⇒<短期間・縮める(期間など)>＋<労働・工事> ※近畿班の案を採用
20	資材	物を作るための材料。材料としての物資。 (例:「建築資材」「復旧資材」など) (goo国語辞書)		北海道 ア 左手拳の甲の上に右手指文字「シ」 2回 東北 ◎ 左手拳の甲の上に右指文字「シ」を2回のせる 関東 ● 建築 / 材料 北信越 △ 材料 東海 ● 指文字「シ」＋ 材料 (わたしたちの手話 P. 20) 近畿 ● 材料 ＋ いろいろ 中国 ● し指文字 ＋ 材料 四国 ○ 左手/材料/ の上に 指文字/し/を乗せる 九州 保 材料	△ ラベルの追加	<材料>の右手<シ>を使うと「7時」に見えるかも。<材料>と同じ表現でよい。 ⇒<材料>と同じ ※北信越班・九州班の案を採用
21	系列	① 系統立って並んでいる一連の物事。また、その配列。 (例:「歴史小説の系列に属する作品」など) ② 生産・販売・資本などによる企業間の結合関係。特に、継続的な取引関係を確保するための企業間の結びつき。 (例:「大企業の系列に組み込まれる」など) (goo国語辞書)		北海道 ア 左手「男」の下に右手で指文字「ね」 東北 ◎ 左手指文字「ケ」＋ 右手指文字「ネ」を左手につけてから右に移動させてから下に下す 関東 △ 「組織」 (学習辞典 I P444) 北信越 ア 「関係」の手話を縦に2回動かす 東海 △ 組織にラベル追加 (わたしたちの手話 P. 444) 近畿 ◎ 「関連」を上から下へ 中国 ● 組織 ＋ 上と下繋ぐ 四国 ○ 左手/親指/ の下で右手を置き下におろす 九州 保 組織	△ ラベルの追加	⇒<組織>と同じ ※関東班・東海班・九州班の案を採用
22	パトロール	巡回すること。特に、警官が事故の早期発見や防犯のため、一定の区域を見回ること。 (例:「繁華街をパトロールする」など) (goo国語辞書)	【一般より】 「夜、町内をパトロールする」などで使う表現を。	北海道 ● 「調べる」＋「歩く」 東北 ● 左で「防ぐ」＋ 右で「歩き回る」 関東 保 調べる / 指先下の人差指で水平に円を描く (歩き回る) 北信越 ア 「確認」＋ 親指を立てたグーの右手をグルグル 東海 ◎ 誘導灯を振りまわす様子 近畿 ア 調べる ＋ 見回す 中国 ● 視察 ＋ 回る 四国 ● /警察/巡回する様子 九州 ● 腕章 ＋ 調べる	保 保存手話	2動作目は、人でも車でも使える表現を工夫した。 ⇒<調べる・査察・調査・探す・検査・監査・測定・安来>＋人差指の先を下に向け水平円を描く ※関東班の案を採用
23	汚物	汚いもの。特に糞尿をはじめとする体内からの排出物を指す語。 (実用日本語表現辞典)		北海道 ● 「汚れ」2回 ＋ 色々 東北 ● 右で「くさい」＋「いろいろ」 関東 ◎ 2指で鼻をつまむ / 汚れ、汚い 北信越 ● 汚い 東海 △ 汚い・ゴミ (わたしたちの手話P. 503) にラベル追加 近畿 ア きたない ＋ 物 中国 ● 体 ＋ 流れ 四国 ● /汚れ/物 九州 ● ごみ ＋ もの	△ ラベルの追加	汚物はくさいとは限らないのでは？という意見もあったが、排泄物のイメージが強いので<汚い>にラベル追加することで意見がまとまった。 ⇒<汚い>と同じ(くさい＋ゴミ) ※関東班・北信越班・東海班の案を採用
24	カテゴリー (分類・ジャンル)	同類のものが属する「部類・分類・ジャンル」のこと。 柴犬やプードルは「犬」というカテゴリーに属しますし、三毛猫やシャム猫は「猫」というカテゴリーに属します。さらに犬や猫は「動物」というカテゴリーに属することになる。 (10分でわかるカタカナ語)		北海道 ア 左手広げ、その上に指文字「カ」で半円を描く 東北 ● 指を広げた左手掌の上で、右手「いろいろ」 関東 ◎ 種類 / グループ 北信越 ● コース(分科会) 東海 ア グループ・組 (わたしたちの手話P. 468) を2回表現 近畿 △ 「グループ」にラベル追加 中国 △ 種類 四国 △ /種類 九州 ● 種類 (利き手の指文字「か」)	△ ラベルの追加	9班の案の中に<種類><分科会>の①などがあるが、斜め3方向に出す表現は少し意味が異なる。 標準手話の<種類>を採用することに。 ⇒<種類>と同じ (位置を変えてまっすぐ3回下ろす) ※班の案の採用なし

25	領域	① ある力・作用・規定などが及ぶ範囲。また、その物事・人がかわりをもつ範囲。 (例:「人間の無意識の領域」「新しい領域を開拓する」など) ② 国際法上、国家の主権の及ぶ区域。領土・領海・領空からなる。 (例:「他国の領域を侵す」など) ③ コンピューターで、プログラム上のある操作が及ぶ範囲。また、ハードディスクなどの記憶装置上で操作が可能な範囲。 (例:「領域指定」「領域確保」など) (goo国語辞書)	未発表手話… 下絵ある。確認して公開したい。 参考: <領土(新Ⅱ-19・学Ⅱ-359)>	北海道	0	未発表手話使用	ア● アレンジとの組み合わせ	
				東北	一	そのままOK		
				関東	◎	身体の前で両手を握る / 左手残し掌下向き開いた右手で水平に円を描く		
				北信越		①と③「範囲」+ 枠 ②「領土」+ 枠		
				東海	◎	下絵の通りで良い		
				近畿	×	未発表の手話表現でOK		
				中国		掲載してある手話でOK		
				四国	●	事務局案に賛成		
				九州	△	領域		
26	実務	実際に仕事を行うことを指す。例えば、会社での業務や日常の業務活動を含む。実務は理論や知識を元に、実際の業務を遂行するためのスキルや能力が必要。また、実務において重要なのは、成果を出すことや、与えられたタスクを期限内にこなすこと。(株式会社FRO MATION) (例:「実務に携わる」「実務経験」など)	<実務研修(H17年度確定、未発表)>では、「実務」…<本当>+<ム>としているが、単独で、またほかの用語で使う場合を考慮して検討してください。	北海道	●	「本当」+「仕事」	● 組み合わせ	平成16年度確定するも未発表。 下絵が残っていたため表現を確認し公開することに。 9班の動画を見ると、<領土>の左手が異なっている。学Ⅱ-359の表現に合わせる。 ⇒<領土>+<続けて、右手指先を前に向けて少し下ろす> (2動作目は<範囲>のアレンジ) ※中国班・四国班の案を採用
				東北	●	「本当」+「責任」		
				関東	●	実際 / 担当 / 仕事		
				北信越	●	「実際」+「仕事」		
				東海	●	本当 + 働く		
				近畿	●	本当 + 仕事		
				中国	保	実際 + 仕事		
				四国	●	/本当/事務		
				九州	●	本当 + 仕事		
27	版下	製版用の原稿。写植印画紙・ロゴ・線画などを台紙に貼り込み、完全版下となる。台紙には各ページを構成する版面寸法、中心トンプ、仕上がり線などが書かれている。 従来、版下とは、手書き文字やロゴなどをさしていたが、電産写植や電子組版、DTP等により出力した印画紙を、製版用原稿の意味で「版下」とよぶようになった。(一社)日本印刷産業連合会 印刷用語集)		北海道	○	両手を合わせ2回たく+ 左手のひら残し右手人差し指で示す	● 組み合わせ	<型(両手レ型を交互に上下する)>を使う意見もあったが、現在ではイメージがわからない。 標準手話の<印刷>に、漢字にあわせた「下」の表現でよいということに。 ⇒<印刷>+<左手残して、右手<下C>(漢字)> ※北信越班・近畿班の案を参考
				東北	●	両手人差し指で四角を描き +「下」		
				関東	保	(ガリ版で) 刷る / 紙(両手人差し指で「四角」を描く)		
				北信越	●	「印刷」+「下」		
				東海	ア	印刷(わたしたちの手話P.378)の右手部分を左手で指差す		
				近畿	◎	印刷(たたく)+ 下		
				中国	●	板 + 下		
				四国	●	/印刷/基		
				九州	保	ポスター(当事者に確認しました)		
28	四苦八苦	現状がとても辛い状況、切羽詰まった様子を表す言葉で用いられる仏教用語。(日蓮宗ポータルサイト)		北海道	●	「行き止まり」左右2回 +「苦しい」	● 組み合わせ	<行き詰まる>+<苦しい>が意味に合うのでは?ということになったが、標準手話の<行き詰まる>は1回あてる。 9班の動画を見ると、左右であてる班が複数ある。 ⇒<行き詰まる(行き止まり)・袋小路・手詰まりB>(1回)+<苦しい・困窮・苦難> ※北海道班・四国班の案を参考
				東北	●	左手で「4」右手で「9」を同時に表現 +「苦しい」		
				関東	◎	苦労 / 苦しい		
				北信越	●	「行き詰まる」+「苦しい」		
				東海	△	ぶつかる(2回)にラベル追加		
				近畿	○	苦しい + 大変(表情に注意)		
				中国	●	苦しい + 限界		
				四国	●	/行き詰まる/を左右で /苦しい		
				九州	保	行き詰る(繰り返し)		
29	禁酒	習慣的に酒を飲んでいたのをやめること。また、酒を飲むことを禁止すること。(goo国語辞書)	<禁煙>…わ7-84(変更)⇒学Ⅰ-246 これのアレンジでいい?	北海道	●	「飲む」2回 +「アウト」	<酒を呑む・酒気B> 保 保存手話 <禁酒B> ア● アレンジとの組み合わせ	わ7-84(酒を呑む+両手でXを作る)があるが、「今日は呑めない」にも見える。おちよこで酒を呑むしぐさの単独ラベルが無いので作り、<止めるA・ストップ>を組み合わせることに。 親指の<ダメ>は法に反するイメージになる。 <酒を呑む・酒気B> ⇒<おちよこで酒を呑むしぐさをする> <禁酒B> ⇒<酒気>の①(おちよこで酒を呑むしぐさ)+<止めるA・ストップ> ※東北班・関東班②・中国班の案を採用
				東北	●	盃で飲む様子 +「止める」		
				関東	●	① 飲む / アウト、ダメ ② 飲む / 止める		
				北信越	保	「酒」+「ストップ」		
				東海	●	酒(わたしたちの手話P.334) + 止める(P.383)		
				近畿	●	酒 + やめる		
				中国	保	飲む + やめる		
				四国	●	/酒/切る		
				九州	●	酒 + 禁止		
30	明快	筋道があきらかでわかりやすいこと。また、そのさま。(例:「明快な答弁」「単純明快」など)(goo国語辞書)		北海道	●	「ハッキリ」+「わかる」	● 組み合わせ	<はっきり>だけでなく<分かる>もあった方がよい。 ⇒<はっきり・解明・明確>+<分るA> ※北海道班・関東班・四国班の案を採用
				東北	●	「わかる」+「簡単」		
				関東	●	はっきり / わかる		
				北信越	△	「はっきり」+「はっきり」		
				東海	●	分かる(わたしたちの手話P.340) + はっきり(P.405)		
				近畿	●	はっきり		
				中国	●	はっきり		
				四国	●	/はっきり/わかる		
				九州	●	見通し + はっきり		

31	内示	情報を公にする前の段階で、当事者に対して物事を伝達すること。 企業で内示が用いられる場面として、配置転換や転勤、昇格などがある。 (人事用語集)		北海道	●	「内」＋「表す」	● 組み合わせ	九州班の案、「内部の報告」が意味に合う。 2動作目は、左手を残して内側で表す。 ⇒<内・内部・胎内(地名)>＋<左手残して、右手<報告・答える・告知・アナウンスB>答案A・回答> ※九州班の案を採用
				東北	●	「内」＋「決める」		
				関東	◎	(小さく) 呼ぶ / 報告		
				北信越	●	「内」＋「発表」(小さく表現)		
				東海	●	内側 ＋ 示す		
				近畿	●	前 ＋ 示す		
				中国	●	内 ＋ 報告		
				四国	●	/内/表す		
				九州	●	内 ＋ 報告 (内側まで)		
32	合法	法規にかなっていること。 また、そのさま。適法。 (例:「合法的活動」など) (goo国語辞書)		北海道	ア	丸めた両手指5本を合わせる ＋ 「法」	● 組み合わせ	「法律に合っている」という表現案が多く、そのまま採用とした。 ⇒<法・法律>＋<相応>(合うを2回) ※東北班・北信越班・中国班・四国班の案を参考
				東北	●	「法」＋「合う」		
				関東	●	法 / 相応しい、合う		
				北信越	●	「法律」＋「合う」		
				東海	●	決まり (わたしたちの手話P. 277) ＋ オーケー (P. 301)		
				近畿	●	法 ＋ 認める		
				中国	●	法 ＋ ぴったり		
				四国	●	/法律/合う		
				九州	●	合 ＋ 法 (左手のCは残したまま)		
33	誤報	何らかの過失によって事実とは異なることが報道・配信されてしまうこと。誤字脱字も含む。誤報が発見された場合には、訂正やお詫びとして報道・配信される。 (共同通信PRワイヤー 用語集)		北海道	●	「間違い」＋「報告」	● 組み合わせ	班の案を見ると、だいたい<間違い(両手を交差)>＋<あやまち(目元で右手2指を半回転)>に分かれた。標準手話の表現を確認しく間違い>が意味に合うということ。 ⇒<間違い>(交差)＋<報告・答える・告知・アナウンスB>答案A・回答> ※北海道班・東北班・関東班・東海班・近畿班・四国班の案を採用
				東北	●	「誤解」＋「報告」		
				関東	●	間違い / 報告		
				北信越	●	「間違い」＋「発表」		
				東海	●	間違い ＋ 報告		
				近畿	●	間違い ＋ 発表		
				中国	●	誤り ＋ 流れ		
				四国	●	/間違い/答える		
				九州	●	間違い (目の下) ＋ 報告		
34	除雪	降り積もった雪を取り除くこと。 (例:「線路を除雪する」「除雪作業」など)		北海道	ア	「雪」(白つけない) ＋ 両手指文字「コ」を前に倒し、前に押し出す	<雪B> 保 保存手話 <除雪> ● 組み合わせ	標準手話の<雪>は<白>がつかうが、9班の案では雪が降る表現だけ。<雪B>を作ること。 除雪の方法は、地域や積雪量などによってさまざまあるが、検討した結果、一般的な道路などに積もった雪を端の方に除けるイメージとすることに。 <雪B> ⇒<雪>の②のみ <除雪> ⇒<雪B>＋<除く> ※九州班の案を採用
				東北	◎	「雪」＋ 両手を前に出してから「開く」		
				関東	●	雪 / 積もる / 除く、除ける		
				北信越	ア	「雪」＋ 除ける様子		
				東海	◎	雪 ＋ 分け進める (2回)		
				近畿	ア	雪 ＋ 除雪する様子		
				中国	保	雪 ＋ 除く		
				四国	●	/雪/除く		
				九州	●	雪 ＋ 除く		
35	オーバー ツーリズム	特定の観光地において、訪問客の著しい増加等が、地域住民の生活や自然環境、景観等に対して受忍限度を超える負の影響をもたらしたり、観光客の満足度を著しく低下させるような状況。 世界の観光地で、観光客の増加による交通機関の混雑や交通渋滞、ゴミや騒音など生活環境の悪化が住民の反発を招いたり、自然環境保護のため人気の高いビーチが閉鎖されるなどの状況が発生している。	参考:<インバウンド(2022/23-75)> <千客万来(わ4ー233.学Ⅱー448)>	北海道	●	「観光」＋「集まる」＋「混乱」	ア● アレンジとの組み合わせ	<千客万来>の手形を使って<インバウンド>の動作することに。 ⇒5指を軽く曲げて<インバウンド>の動作＋<混乱・荒波・騒動> ※北海道班の案を参考
				東北	◎	2指を向かい合わせた両2指を同時に下す＋「混み」		
				関東	◎	指を湾曲させ左右でかまえた両手を指先から中心に集める / オーバー		
				北信越	●	「観光」＋「人混み」		
				東海	◎●	観光 ＋ 集団で来る ＋ 混乱		
				近畿	◎	観光 ＋ いっぱい来る (迷惑な顔つき)		
				中国	●	来る ＋ 観光 ＋ マナー悪い		
				四国	●	/インバウンド/超える		
				九州	●	おしよせる ＋ オーバー		
36	高級	階級や地位、程度や品質が高くすぐれていること。 また、そのさま。 (例:「高級な料理」「話が高級すぎて理解できない」「高級車」「高級なアクセサリー」など) (goo国語辞書) 【参考】上質…価格に捉われず、自分自身が心豊かな気分になることに価値がある。		北海道	◎	鼻の下「お金」左から右に移動し最後少し上に動かす	△ ラベルの追加	9班の動画を見ると、標準手話の上品…親指と4指を伸ばしそのまま右へ立派…口ひげのように最後は閉じるの表現がごちゃごちゃになっているのでは？表現を確認しく上品>を採用することに。 ⇒<上品・美徳>と同じ(手形そのまままで右へ引く) ※班の案の採用なし
				東北	保	人差し指と中指を鼻のあたりから額にあげる		
				関東	保	立派、格が高い		
				北信越	△	立派		
				東海	ア	上品 (わたしたちの手話P. 520) を少し誇張する		
				近畿	ア	立派		
				中国	保	最高 ＋ 上品		
				四国	保	ブランドーグラスを回し揺らす		
				九州	●	すばらしい ＋ ば		

37	電撃	① 強い電流をからだに受けたときに感じる衝撃。 ② 電光のように、すばやく攻撃すること。 (例:「電撃作戦」など) ③ 電光のように、前ぶれなしに衝撃を与えること。 (例:「電撃的な結婚」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「突然」＋ 両手で「驚く」	△ ラベルの追加	③の意味で使われることが多いため＜突然＞のラベル追加とした。 ⇒＜突然＞と同じ ※中国班の案を採用
				東北	保	「お金」を右額から指を離しながら前に出す		
				関東	◎	感じる / いきなり、突然		
				北信越	△	雷		
				東海	①◎ ②③△	① 雷のマークを表現 (AEDの電気と同様) ＋ ショック (わたしたちの手話P. 276) ②③ 突然にラベル追加		
				近畿	◎	両手で、あっと驚く様子		
				中国	△	3→突然 1, 2 ×		
				四国	●	① /突き刺す/ビリビリくる様子 ② 相手にビリビリを与える様子 ③ 指文字/え/を後ろに引く (保存手話)		
38	昇華	① 固体が、液体を経ないで直接気体になること。また、気体が直接固体になること。樟脳(しょうのう)・ナフタリン・ドライアイスなどでみられる。 ② 物事が一段上の状態に高められること。 (例:「作品への執念が芸術に昇華される」など) ③ 精神分析の用語。性的エネルギーが、性的目的とは異なる学問・芸術・宗教などの活動に置換されること。 (デジタル大辞泉)	今回は、②について検討してください。	北海道	○	「」の形の両手を胸下から肩上げ、右手のみにあげる	ア アレンジ	⇒両手「コ」形を向き合わせ右上に少し弧を描いて上げる (＜成長＞のアレンジ) ※近畿班の案を参考
				東北	◎	左手の指に重ねた右手を半円を描きながら上にあげる		
				関東	◎	掌上向きで右手を丁寧にする		
				北信越	●	「レベル」＋「アップ」		
				東海	ア	上の方に変換する		
				近畿	◎	高めて鼻へ変わっていく様子		
				中国	●	高める ＋ 輝く		
				四国	ア	/最高/を超えて 揺らしながら上にあげる		
39	魂胆	① 心に持っているたくらみ。策略。 ② 入り組んだ事情。内情。 「魂」…こころ。「胆」…心の底。本当の気持ち。 (二字熟語の百科事典)		北海道	◎	指文字「ぬ」腹のところで下にする。	ア アレンジ	「悪い」イメージは左寄りで表す」の基本ルールを元に検討。 ⇒左寄りでくしめしめ>(何かたくらんでいるような表情で) (くしめしめ>のアレンジ) ※東海班の案を参考
				東北	◎	胸の前に左掌を置き、その内側に右手でゲンコツを握る		
				関東	◎	内 / 計画		
				北信越	◎	心を指さし ＋ 腹を指さす		
				東海	◎	思う ＋ (手をこする)		
				近畿	◎	「目的」の手話を小さく表す		
				中国	●	心臓の裏 ＋ 都合		
				四国	保	左手で腹に拳をあて、右人差し指でそれを指し示す		
40	恩を仇で返す	施しや慈しみ(＝恩義)を受けた相手に対して恩返しせず、逆に相手害するようなこと(＝仇)を与える様子を指す。 善意を受けたのにも関わらず、それに報いることなく失礼なことを平気でしてかす様を表した慣用句。 非道徳的な行為を責める場面でよく使われる。 (小学館ダイム公式サイト)		北海道	●	「助ける」＋「傷つける」	<傷つける> △ ラベルの追加 <恩を仇で返す> ● 組み合わせ	9班の案を見ると「恩をあだで返される」表現があるが、自分があだで返すので逆の動作が必要。近畿班の案がいい。 <傷つける> ⇒＜傷害＞と同じ <恩を仇で返す> ⇒＜協力してもらう・力添えしてもらう>＋ <傷害・傷つける> ※近畿班の案を採用
				東北	●	「助ける」＋ 二本指で「言い換える」		
				関東	◎	右手で頭をなでる / そのまま手を握り右下に捨てる動作		
				北信越	ア	支援 ＋ 傷つけられる		
				東海	×	単語を決めることができず、文の通りの表現になるのではないか (例: 可愛がってもらう＋でも＋振る)		
				近畿	ア	助けてもらう ＋ 傷つける		
				中国	●	親切 ＋ 見捨てる(鼻捨てる)		
				四国	保	/恩/捨てて去る様子		
41	下積み	荷物を他の荷物の下に積むことだが、一般的に、表舞台に立てない修業時代などのことを言い、芸能業界で「長い下積み経験が今に生きています」などとよく使われる。 (笑える国語辞典)		北海道	●	「弟子」＋「積み重ねる」	<下積みA> ● 組み合わせ <下積みB> ● 組み合わせ	弟子・ペーパー はA・Bあるので、それぞれを使った表現としてA・Bを提案したい。 <下積みA> ⇒＜弟子A・ペーパーA>(手前へ)＋<積み重ね>(右左右と重ねる) ※四国班の案を採用 <下積みB> ⇒＜弟子B・ペーパーB>(下へ)＋<積み重ね>(右左右と重ねる) ※北海道班・関東班の案を採用
				東北	◎	左掌に右手甲を少しずつ上に上げて付ける		
				関東	●	丁稚、弟子 / 積み重ねる		
				北信越	ア	弟子 ＋ 技術を磨く		
				東海	●	経験 ＋ 積み重ねる		
				近畿	ア	経験を積み重ねる様子		
				中国	△	ペーパー		
				四国	保	/丁稚/積み重ねる		
42	補修	壊れたり、傷んだりした部分をつくろうこと。 (例:「壁画を補修する」「補修工事」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「補うB」＋「変わる」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい <補う(ふた)>＋<直すA(代えるを2回)> > > 補正・補うB(左甲に右掌を下から重ねる) >＋<直すA>に分かれている。どちらが意味に合う表現か検討し、前者を選んだ。 ⇒＜補う>(ふた)＋<直すA>(＜代える・代替B>を2回表す) ※関東班・北信越班の案を採用
				東北	●	「補」＋「代える」を繰り返す		
				関東	●	補う / 修理		
				北信越	●	「補う」＋「修理」		
				東海	●	補う ＋ 修正する (手裏剣のような表現)		
				近畿	●	補助 ＋ 修理		
				中国	△	補う		
				四国	ア	/補う/の右手を人差し指にして/修理/の動き		
				九州	●	補う (片手) ＋ 変える (2回)		
				北海道	●	「突然」＋ 両手で「驚く」	△ ラベルの追加	③の意味で使われることが多いため＜突然＞のラベル追加とした。 ⇒＜突然＞と同じ ※中国班の案を採用
				東北	保	「お金」を右額から指を離しながら前に出す		
				関東	◎	感じる / いきなり、突然		
				北信越	△	雷		
				東海	①◎ ②③△	① 雷のマークを表現 (AEDの電気と同様) ＋ ショック (わたしたちの手話P. 276) ②③ 突然にラベル追加		
				近畿	◎	両手で、あっと驚く様子		
				中国	△	3→突然 1, 2 ×		
				四国	●	① /突き刺す/ビリビリくる様子 ② 相手にビリビリを与える様子 ③ 指文字/え/を後ろに引く (保存手話)		
				九州	●	思う ＋ 突然		
38	昇華	① 固体が、液体を経ないで直接気体になること。また、気体が直接固体になること。樟脳(しょうのう)・ナフタリン・ドライアイスなどでみられる。 ② 物事が一段上の状態に高められること。 (例:「作品への執念が芸術に昇華される」など) ③ 精神分析の用語。性的エネルギーが、性的目的とは異なる学問・芸術・宗教などの活動に置換されること。 (デジタル大辞泉)	今回は、②について検討してください。	北海道	○	「」の形の両手を胸下から肩上げ、右手のみにあげる	ア アレンジ	⇒両手「コ」形を向き合わせ右上に少し弧を描いて上げる (＜成長＞のアレンジ) ※近畿班の案を参考
				東北	◎	左手の指に重ねた右手を半円を描きながら上にあげる		
				関東	◎	掌上向きで右手を丁寧にする		
				北信越	●	「レベル」＋「アップ」		
				東海	ア	上の方に変換する		
				近畿	◎	高めて鼻へ変わっていく様子		
				中国	●	高める ＋ 輝く		
				四国	ア	/最高/を超えて 揺らしながら上にあげる		
39	魂胆	① 心に持っているたくらみ。策略。 ② 入り組んだ事情。内情。 「魂」…こころ。「胆」…心の底。本当の気持ち。 (二字熟語の百科事典)		北海道	◎	指文字「ぬ」腹のところで下にする。	ア アレンジ	「悪い」イメージは左寄りで表す」の基本ルールを元に検討。 ⇒左寄りでくしめしめ>(何かたくらんでいるような表情で) (くしめしめ>のアレンジ) ※東海班の案を参考
				東北	◎	胸の前に左掌を置き、その内側に右手でゲンコツを握る		
				関東	◎	内 / 計画		
				北信越	◎	心を指さし ＋ 腹を指さす		
				東海	◎	思う ＋ (手をこする)		
				近畿	◎	「目的」の手話を小さく表す		
				中国	●	心臓の裏 ＋ 都合		
				四国	保	左手で腹に拳をあて、右人差し指でそれを指し示す		
40	恩を仇で返す	施しや慈しみ(＝恩義)を受けた相手に対して恩返しせず、逆に相手害するようなこと(＝仇)を与える様子を指す。 善意を受けたのにも関わらず、それに報いることなく失礼なことを平気でしてかす様を表した慣用句。 非道徳的な行為を責める場面でよく使われる。 (小学館ダイム公式サイト)		北海道	●	「助ける」＋「傷つける」	<傷つける> △ ラベルの追加 <恩を仇で返す> ● 組み合わせ	9班の案を見ると「恩をあだで返される」表現があるが、自分があだで返すので逆の動作が必要。近畿班の案がいい。 <傷つける> ⇒＜傷害＞と同じ <恩を仇で返す> ⇒＜協力してもらう・力添えしてもらう>＋ <傷害・傷つける> ※近畿班の案を採用
				東北	●	「助ける」＋ 二本指で「言い換える」		
				関東	◎	右手で頭をなでる / そのまま手を握り右下に捨てる動作		
				北信越	ア	支援 ＋ 傷つけられる		
				東海	×	単語を決めることができず、文の通りの表現になるのではないか (例: 可愛がってもらう＋でも＋振る)		
				近畿	ア	助けてもらう ＋ 傷つける		
				中国	●	親切 ＋ 見捨てる(鼻捨てる)		
				四国	保	/恩/捨てて去る様子		
41	下積み	荷物を他の荷物の下に積むことだが、一般的に、表舞台に立てない修業時代などのことを言い、芸能業界で「長い下積み経験が今に生きています」などとよく使われる。 (笑える国語辞典)		北海道	●	「弟子」＋「積み重ねる」	<下積みA> ● 組み合わせ <下積みB> ● 組み合わせ	弟子・ペーパー はA・Bあるので、それぞれを使った表現としてA・Bを提案したい。 <下積みA> ⇒＜弟子A・ペーパーA>(手前へ)＋<積み重ね>(右左右と重ねる) ※四国班の案を採用 <下積みB> ⇒＜弟子B・ペーパーB>(下へ)＋<積み重ね>(右左右と重ねる) ※北海道班・関東班の案を採用
				東北	◎	左掌に右手甲を少しずつ上に上げて付ける		
				関東	●	丁稚、弟子 / 積み重ねる		
				北信越	ア	弟子 ＋ 技術を磨く		
				東海	●	経験 ＋ 積み重ねる		
				近畿	ア	経験を積み重ねる様子		
				中国	△	ペーパー		
				四国	保	/丁稚/積み重ねる		
42	補修	壊れたり、傷んだりした部分をつくろうこと。 (例:「壁画を補修する」「補修工事」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「補うB」＋「変わる」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい <補う(ふた)>＋<直すA(代えるを2回)> > > 補正・補うB(左甲に右掌を下から重ねる) >＋<直すA>に分かれている。どちらが意味に合う表現か検討し、前者を選んだ。 ⇒＜補う>(ふた)＋<直すA>(＜代える・代替B>を2回表す) ※関東班・北信越班の案を採用
				東北	●	「補」＋「代える」を繰り返す		
				関東	●	補う / 修理		
				北信越	●	「補う」＋「修理」		
				東海	●	補う ＋ 修正する (手裏剣のような表現)		
				近畿	●	補助 ＋ 修理		
				中国	△	補う		
				四国	ア	/補う/の右手を人差し指にして/修理/の動き		
				九州	●	補う (片手) ＋ 変える (2回)		

43	撤去	建造物や施設などを取り去ること。取り払うこと。 (例:「作業用の足場を撤去する」など)		北海道 ● 「建物」＋「無くなる」 東北 ◎ 左掌を上に向け、右手で除ける 関東 保 はじく（不要物等） 北信越 ア 横に避けてきれいに仕草 東海 ◎ （建物）を取って ＋ 捨てる 近畿 ● 止まる ＋ 除ける 中国 △ 取り去る、削除 四国 △ 捨てる 九州 ● はぶく	<撤去A・除くA（物）> △ ラベルの追加 <撤去B・除くB（人）> 保 保存手話	<撤去A・除くA（物）> ⇒<除く>と同じ(親指側) <除く(続①－119)>のラベルも変更 ※東北班・北信越班・九州班の案を採用 <撤去B・除くB（人）> ⇒左手掌に右手小指側を置いて右へ払う(手首の回転はつけない。直角に下ろして払う)と<除外・弾効>になるので気をつける ※関東班の案を採用
44	オーバーレイ	主に「上に置く」「上塗りする」「うすく覆う」「重ね合わせる」といった意味合いで用いられる英語の表現。日本語においては、画像編集・動画編集の分野において「複数枚の画像データを重ねて合成する」処理を指す語として用いられる場合が多い。 ウェブ広告の分野では、Webページの一部に覆い被さるように表示されてユーザーの注意を引く広告手法が「オーバーレイ広告」と呼ばれている。	道路などの補修工事のページで見つけた用語ですが、今回はIT関連の表現を検討してください。	北海道 ◎ 左手の平を顔の前に出し、右手平を左手横上に置く 東北 ● 左手甲に右手を乗せる 関東 ◎ 指先上で甲外側の両手を左右から近づけて顔の前で重ねる 北信越 ア 画面に突如現れる様子 ＋ 「広告」 東海 ア 重ねるを垂直方面で表現 近畿 ◎ 両手で、カバーするようにする 中国 △ 覆い被せる 四国 ア 左手は/動画/ そこに右手を差し込む様子 九州 ● 非利き手の掌の上に、利き手を横からスライドさせる	◎ 創作手話	今回は、IT関連の表現を検討。 ⇒指を広げ指先を右に向けた左手(画面)に指を閉じた右手を前方から左手甲側につける(重ねる) ※関東班・近畿班・四国班の案を参考
45	遠征	① 遠方の敵を征伐しに行くこと。 (例:「十字軍の大遠征」など) ② 試合・登山・探検などで遠方へ出かけていくこと。 (例:「日本チームのアメリカ遠征」「遠征試合」など) (goo国語辞書ほか)		北海道 ◎ 丸めた左手に丸めた右手を押しつける 東北 ◎ 「集まり」を前に移動 関東 ◎ 左側でグループを作り、右前方に移動する 北信越 ア 左手で遠くの場所を表し、右をその位置へ動かす 東海 ◎ 両手親指を遠いところに向かわせる様な表現 近畿 ア 「訪問」をアレンジして斜め横から遠くへ 中国 ● 集まる ＋ 移動 四国 ● /遠く/グループで行く様子 九州 ● 「ありがとう」を上にあげずに、前方へ動かす	<遠征A> ア アレンジ <遠征B> ア アレンジ	<遠征A> ⇒<出向く・出張る>を右斜め前に出す(一人の場合) (<出向く・出張る>のアレンジ) ⇒東海班・近畿班の案を採用 <遠征B> ⇒掌を向き合わせ指先を上に向けた<グループ>の手形を少し弧を描いて右斜め前に出す(集団の場合) (<グループ>のアレンジ) ※東北班の案を採用
46	人身事故	警察庁によると「車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの」を意味する。 (琥珀法律事務所)		北海道 ア 「1（人差し）」＋「九」の形を指先から「1」にぶつける 東北 ● 左で「足」＋ 右で「事故」 関東 ◎ 左人差指に、小指下側で立てた右手の指先を当てて倒す 北信越 ア 左手人差し指で右手は「事故」の動き 東海 ◎ア 交通（片手）＋ 人（もう一方の手）が接触して倒れる 近畿 ◎ 人を車ではねる様子 中国 △ 人 ＋ 車が人にぶつかる 四国 ア /交通事故/の片手を/人/に変える 九州 ● 非利き手の人差し指に、利き手（車）を当て、人差し指をすこし前に動かす	<はねる（人）> ◎ 創作手話 <人身事故> ア ● アレンジとの組み合わせ	<事故>のアレンジとする案も出されたが、それでは「人身」が分かりにくいという意見あり。 電車でも多く聞くことばなのはっきりと「人」を表現してから、よく使われている<交通事故>の2動作目と組み合わせることに。 <はねる（人）> ⇒指先を左手人差指に向けた右手を左手人差指にあててはじく <人身事故> ⇒「人」を空書＋<交通事故>の②(<交通事故>のアレンジ) ※関東班・近畿班の案を採用
47	耳にタコができる	同じ話を何度も聞かされて嫌になるという意味。 【由来】 ペンで文字を書き続けたときの指や歩き続けたときの足の裏には胼胝(たこ)が出来る。同じ話を繰り返す聞き続けても、実際、耳にたこが出来ることはないが、耳にたこができるほど同じ話を聞かされ続けているという喩えとして、古く江戸時代から使われている。 (ことわざ・慣用句の百科事典)		北海道 ア 右手を指先を軽くまげ手前で回す2回 ＋ 右手「うるさい」 東北 ◎ 五指を曲げて耳を囲んでから大きく広げる 関東 ◎ 言われる / 右手指先を前に向けて軽く曲げ、小さな円を描きながら下に移動する(繰り返し) 北信越 保 「繰り返し」＋「あきる」 東海 ◎ 耳に大きなこぶができるイメージ 近畿 ◎ (聞こえる人) 耳にタコを表す(ろう者)目にタコ 中国 保 聞く ＋ 繰り返し 四国 ア 耳のところで/繰り返し/の表現 九州 ● 繰り返し ＋ 飽きる	● 組み合わせ	意味通り、<繰り返し> <あきる>とした。 ⇒<繰り返し>「いちごっこ」＋<あきる> ※北信越班・九州班の案を採用
48	のろけ	恋人や配偶者との仲の良さを、愛情深く幸せそうに周囲に話すことを指す言葉。 単に「来週末、恋人と〇〇に行く予定です」という事実を伝えるだけであれば、惚気には当てはまりません。 (ゼクシィ)		北海道 ● 「愛」＋「言う」 東北 ◎ 胸の前で手を重ねて左右に揺らす 関東 ● 恋 / 自慢 北信越 ア 指文字ハートを「自慢」の手話のように鼻から前方へ 東海 ◎ ハートを2回作る（ラブラブ） 近畿 ア ラブラブ（♥）＋ 話 中国 保 のろけ 四国 ◎ /幸せ/言う（口を少しとがらせ自慢気な表情） 九州 ● 自慢 ＋ 幸せ	<ラブラブ> ア アレンジ <のろけ> ● 組み合わせ	東海班の案を<ラブラブ>とし、<自慢>と組み合わせることにした。 <ラブラブ> ⇒両手5指で「♡」を作り(親指下)前に小さく2回出す (<恋>のアレンジ) ※東海班の案を採用 <のろけ> ⇒<ラブラブ>＋<自慢>(鼻) ※班の案を採用なし

49	清楚	清らかなイメージや、飾り気がないことを指す言葉。「清楚」の英語表現は、「Neat and clean」。「(身だしなみが)きちんとして清潔な」や「(場所が)きれいに整頓されている」「きちんと片付いている」という意味になる。		北海道	△	「清潔」ラベル追加	● 組み合わせ	<美しい・きれい>だけでは足りないので<姿勢>を加えることとした。 ⇒<美しいB(きれい)>+<姿勢A> ※関東班・四国班の案を採用
				東北	●	ゆっくり「綺麗」		
				関東	◎	きれい / 掌を向き合せ下に移動する（スリリとした人）		
				北信越	●	「綺麗」+「きちんと」		
				東海	ア	きれい（わたしたちの手話P.375）をゆっくり表現する		
				近畿	●	きれい + おとなしい		
				中国	●	綺麗 + 間		
				四国	●	/きれい/ きちんとしている様		
50	煩惱	流行に左右されない普遍性を残して、洗練されている様に使うことが多く、すっきりシンプルであることに対して「清楚な白い服」「清楚な教会」など、褒める場合に用いられる。人に対しては、顔立ちではなく、その人のまとう雰囲気からくる品の良さなど、全体的な印象を指すことが多いでしょう。（ゼクシィ）	人間を悩ませる欲望や執着、怒りや嫉妬などの負の感情を指す。この煩惱が、私たちを苦しみの連鎖に巻き込む原因とされ、仏教では「苦」を生む根源として位置づけられている。（浄土真宗 慈徳山 得藏寺） 12月31日の大晦日の夜の日付が変わる前に、寺院では「除夜の鐘」と言って、百八の煩惱を消滅させるために、百八回鐘を突く習慣がある。	北海道	ア	「悩み」+ 左頭に両手を合わせ、右手のみ左に動かす	● 組み合わせ	頭の中が悩みでいっぱいの様子を表現。 ⇒<悩みB>(<両手2指交互に回す>)+<頭がいっぱい> ※北海道班の案を採用
				東北	●	「苦しい」+「考える」		
				関東	◎	考え / 「汚い」を横にずらして2回		
				北信越	◎	左手で頭を指さし + 右手で飢える		
				東海	△	悩み（わたしたちの手話P.446）にラベル追加		
				近畿	◎	頭の煩惱をそれぞれつかむイメージ		
				中国	×			
				四国	ア	頭の横で/もやもやして悩んでいる様子/表情が大切		
51	ほどほど	① 度が過ぎないで、ちょうどよい加減であること。適度。適当。 (例:「酒もほどほどにしろ」など) ② 身分の程度。分際。 (例:「ほどほどにつけて、装束、人のありさまいみじくとのへたり」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	ア	「間A」上下に2回動かす	△ ラベルの追加	⇒<〜ぐらい>と同じ ※東海班・近畿班・九州班の案を採用
				東北	ア	「落ち着く」繰り返す		
				関東	◎	掌下向きで少し離して両手を置き、2回上下		
				北信越	●	ちょうど		
				東海	①②△	① ぐらいにラベル追加 ② 合う・ちょうど（2回）にラベル追加		
				近畿	保	手のひらを縦にして 〜ぐらい		
				中国	△	広島、山口、鳥取、岡山の手話		
				四国	保	掌を正面に向け 指先を左右に小さく揺らす		
52	ミル(コーヒー豆を挽く道具)	食材を細かく砕き、粉末状にする機械。ミキサーと比較して刃が少なく短いものが多いため、粗削りに仕上がることが特徴である。また、ミルコップが小さいため、大きい食材の攪拌用には向かず、コーヒー豆など小さな食材を砕く時に使われる。（株式会社折兼）		北海道	○	右上手に両手を重ねて回す + 両手拳を重ねて回す	◎ 創作手話	⇒左手「C」形を寝かせた上方で立てた右手拳を回す ※北信越班・近畿班・九州班の案を採用
				東北	◎	ミルのしぐさ		
				関東	◎	左掌の上、少し離れた場所で握った右手を2回回す		
				北信越	保	手動ミルで豆を挽く仕草		
				東海	◎	グーをくっつけて、上のグーを回す		
				近畿	◎	コーヒー豆をひく様子		
				中国	保	ミル		
				四国	保	ミルで豆を挽く様子		
53	〇〇界限	そもそも日本語で「その辺り一带」「近辺」を意味する一般的な表現として使用されてきた。 しかし、現代のSNSや若者文化では、特定のジャンルやコミュニティを示すスラング的な使い方として進化している。「推し界限」「美容界限」「アニメ界限」といった形で、趣味や嗜好が似通った人々が集う空間を指すことが多く、とくにZ世代の間で広く浸透。この言葉の使用拡大により、2024年には、「ユークャン新語・流行語大賞」のトップ10！にノミネートされた。（TABILABO）		北海道	ア	右手の甲を上にも左回りでまわす。	△ ラベルの追加	⇒<辺りB>と同じ (状況に合わせた位置で<みんな>を小さく表す) ※東海班の案を採用
				東北	●	「場所」を回す		
				関東	◎	丸めた両手を左右から近づけ、片手人差指で円周をなぞる		
				北信越	◎	「場所」の手話を振る		
				東海	△ア	「周り」をその界限の方に向けて表現		
				近畿	◎	場所を円を描くように表現		
				中国	●	①辺り ②世界		
				四国	△	/周辺/		
54	スキマバイト	長期雇用契約を結ばずに自分の都合のいい隙間時間だけ働けるアルバイトのこと。（ワクトリLABO）		北海道	●	「間A」+「アルバイト」	<隙間A> 保 保存手話 <隙間B> ア アレンジ <スキマバイト> ● 組み合わせ	<隙間A> ⇒指先を前に向けて寝かせてた右手2指を置く ※東北班・北信越班・中国班・四国班の案を参考 <隙間B> ⇒<隙間A>を左右の順に置く(<隙間A>のアレンジ) <隙間バイト> ⇒<隙間B>+<アルバイト>
				東北	●	「細い」+「仕事」		
				関東	◎	狭い感覚で「間」/ 仕事		
				北信越	●	「細い」+「バイト」		
				東海	◎	空いている + アルバイト		
				近畿	◎	時間 + ぴったり + 仕事		
				中国	●	時間 + 隙間 + バイト		
				四国	●	/ちょっと/アルバイト		
				九州	●	空き + 時間 + 仕事		

55	地球沸騰化	2023年7月における世界の平均気温が、観測史上最高となる見通しとなったことを受け使われた言葉。2023年7月において40℃を超える地域が世界中で発生しており、気温上昇にともなう山火事なども相次いでいる。地球沸騰化は単なる気温の上昇だけでなく、異常気象をはじめとするさまざまな問題の原因となっている。（グリラボ）	国連で紹介している、市民一人ひとりができるアクション「個人でできる10の行動」	北海道●「気温」＋「地球」 東北●「地球」＋「暑い」＋「化」 関東◎地球 / 掌上向き指を軽く曲げた両手を交互に上下 / 気温を上げる 北信越◎左手は「地球」右手で表面沸騰を表したあと左手をカバー 東海◎ア温度上昇＋地球の周り（地球温暖化のアレンジ） 近畿◎地球＋熱くなって 中国●地球＋温度上がる 四国●/地球/すごく熱い様子/化 九州●地球＋気温上昇＋なる	● 組み合わせ	標準手話＜地球＞の表現を確認し、丸めた左手の回りを右手掌で包み込むように回し下ろす。 ＜成る・〜化＞はつけないこととした。 ⇒＜地球＞＋＜気温＞（気温が上がる動作） ※中国班の案を参考
56	本気	① まじめな気持ち。真剣な気持ち。また、そのさま。 （例:「本気を出す」「本気で取り組む」など） ② めんこなどの子供の遊びで、勝てば相手の出したものを取れるというルール。ほんこ。（goo国語辞書）		北海道●「本当」＋「心」 東北●「本当」＋「気」 関東●本当 / 曲げた5指を腹に当てる（肝・気持） 北信越「本当」＋ 頷き 東海ア「本当」を真剣な表情で 近畿◎本当＋気持ち 中国保本当＋き指文字 四国保/本当/ 指文字/き/ 九州●気持ち＋本当	△ ラベルの追加	⇒＜本当・真実・マジ・実際＞と同じ(1回) ※北信越班・東海班の案を採用
57	上等	① 物の品質や出来ばえなどが、すぐれてよいこと。また、そのさま。優秀。（例:「上等な品」など） ② 申し分がないさま。結構。上出来。満足。 （例:「マラソンで10着に入れば上等だ」など） ③ 等級が上であること。等級が上のもの。 ※「喧嘩上等」「左遷だって。上等じゃないか」のように、一般には避けるのが普通の物事に向こう見ずに飛びついたり、落胆するような場面でそれがどうしたと居直ったりする気分で使うことがある。 （goo国語辞書）	①②③、「喧嘩上等」、それぞれに合う表現の検討を！	北海道●①「上」＋「立派」 ②「満足」 ③右手のひら上に「招く」 東北●胸の前で「最高」 関東◎身体の前で2回手を叩く 北信越①立派 ②良い ③最高 喧嘩上等は「構わない」＋「かかってこい」 東海△①②③ 最高（わたしたちの手話P.399）にラベル追加 「喧嘩上等など」…構わないにラベル追加 近畿◎①と②立派（鼻の下） ③成績（上中下）＋立派 ※なめるなよ（息を吹きかける） 中国●①上＋いいもの ②板＋上 四国●①/最高/素晴らしい ②/最高/ ③/最高/ライン ④喧嘩の場合 /最高/こい！ 九州●①最高/②悪くない/③文脈に沿って変わる（動画をみてください）/④かかってこい	△ ラベルの追加	⇒＜結構B＞と同じ （＜良い・善良・善玉（コレステロール）・取り柄＞を2回前に出す） ※班の案の採用なし
59	ボケ（ツッコミの反対）	漫才などの役割分担。ボケ役のやっていることを要約すると、「ある話題において、わざと、明らかに、しかも観ている側が共感できるようなレベルでの間違いや勘違いを言葉にして、笑いをさそう流れをつくる」。それに対してツッコミ役は、ボケ役の間違いを素早く指摘して笑いを生む。 ボケ役のタイミングや口調、内容のレベルが高ければ高いほど面白い話になっていくし、観る人の笑いの感情を増幅、加速させることができる。 「ボケ」の語源は「ボケる」。 （クリエイターズステーション）		北海道ア指文字「レ」親指をこめかみにつけ、後ろへ動かす 東北◎左親指を立て、右手で軽く叩く 関東◎平手で軽く側頭を叩く 北信越◎自分の頭をはたく 東海△ア「馬鹿」をお笑いのボケのようにする 近畿◎胸をたたくしぐさ（漫才でよくやるしぐさから） 中国アツッコミの反対 四国ア自分で頭をたたく様子 九州保マネの手話をこめかみのところで表現	保 保存手話	⇒こめかみあたりを軽くたたく ※関東班・北信越班・四国班の案を採用
58	ツッコミ	ボケ役のタイミングや口調、内容のレベルが高ければ高いほど面白い話になっていくし、観る人の笑いの感情を増幅、加速させることができる。 「ボケ」の語源は「ボケる」。 （クリエイターズステーション）		北海道ア左手「1」を右手人差し指でつく 東北◎右指文字で「ツ」＋「いじめ」 関東◎身体の前で指先前方、小指下側で立てた片手を身体の横に水平に動かす（漫才の「なんでやねん」仕草） 北信越◎相手の胸を裏手ではたく 東海◎漫才のツッコミ役の叩き方をイメージ 近畿◎胸の前で手ではらうしぐさ（＃） 中国アツッコミ 四国アつっこみの人が相方の胸をたたく様子 九州保なんでやねん	保 保存手話	漫才の場合の立ち位置は、基本的に、ボケが向かって右側、ツッコミは左側 ⇒右側にいる人を右手甲側で前方からたたく ※北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
60	ネイティブ	ネイティブ・スピーカーの略、つまり、ある言語を母国語として幼いころから話している人。 （ミライコングリッシュ）	複数の意味がありますが、今回は意味を絞って検討してください。	北海道●「自然」＋「話す」 東北◎左側から右側に移動しながら「育つ」＋「言語」 関東◎身に付ける /（片手で）成長 北信越上「身につける」の手話を下から上へ 東海◎大きくなるのイメージ（生まれ育ち持ったもの） 近畿◎習慣を斜め下から上へ動かす（生まれて育つ様子） 中国●成長＋言語 四国●/第一/言語/人 九州△自然	● 組み合わせ	「自然に身についた」という表現とした。 ⇒＜自然＞＋＜習慣・身につける・習得・慣用・慣行＞（前に出す） ※北海道班・近畿班の案を参考

61	バイアス	偏見や先入観を意味する言葉。無意識に持っているものや、経験に基づいた思い込みなど、さまざまな種類がある。働きやすい職場づくりを行うためには、バイアスについての知識を深め、ネガティブなバイアスを排除することが重要です。(例:「あの人の意見には、いつもバイアスがかかっている」など) (日本の人事部)		北海道	●	「思う」＋「つまる」	△ ラベルの追加	⇒<先入観・思い込み・思い込む>と同じ (思う＋右手グーをこめかみで小さく回す) ※北信越班・近畿班の案を採用
				東北	◎	両手掌を向かい合わせて前に出してから右へ移動		
				関東	◎	「道」を斜め右に動かす / 思い込む		
				北信越	△	「思い込み」		
				東海	△	偏見 (わたしたちの手話P. 386) にラベル追加		
				近畿	△	「先入観」のラベル追加		
				中国	△	思い込み		
				四国	△	/ 思い込み /		
				九州	●	思い込み ＋ 失敗		
62	織姫	日本では織女のことを「織り姫(おりひめ)」、牽牛のことを「彦星(ひこぼし)」と呼んでいる。織り姫はこ座の1等星・ベガで、彦星はわし座の1等星・アルタイル。	一般より「手話作って!」の要望あり。 ご本人の表現 案星＋姫で織姫星＋王子で彦星	北海道	●	左手「女」＋ 右手「星」 2回	<天の川> ◎ 創作手話 <織姫> ● 組み合わせ	関東班の天の川の表現案がよいと意見が一致した。 関東班の1動作目を<天の川>とすることに。 <天の川> ⇒掌を手前に向けた両手の指をはじかせながら左右にゆったり蛇行しながら下げていく <織姫> ⇒<天の川>＋<女> ※関東班の案を採用
				東北	●	「織物」＋「女」		
				関東	◎	両手で「星」を蛇行させて下に移動 / 左側に女		
				北信越	●	「星」＋「女」		
				東海	●	星 (わたしたちの手話P. 555) ＋ 女		
				近畿	◎	星 ＋ 姫		
				中国	保	七夕 ＋ 女		
				四国	●	/7月7日/女		
				九州	●	非利き手女性 ＋ 利き手7を下方向にはらはら動かす		
63	彦星	夜空の暗い場所では、2つの星の間に天の川が横たわっているようすを観察することができる。 (大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台)		北海道	●	左手「男」＋ 右手「星」 2回	● 組み合わせ	⇒<天の川>＋<男> ※関東班の案を採用
				東北	●	「牛」＋「男」		
				関東	◎	両手で「星」を蛇行させて下に移動 / 右側に男		
				北信越	●	「星」＋「男」		
				東海	●	星 (わたしたちの手話P. 555) ＋ 男		
				近畿	◎	星 ＋ 男		
				中国	保	七夕 ＋ 男		
				四国	●	/7月7日/男		
				九州	●	非利き手男性 ＋ 利き手7を下方向にはらはら動かす		
64	不合格	試験・検査などに合格しないこと。 (goo国語辞書)	「不合格」…標準手話のラベル無し <合格(わ9－58・学Ⅰ－400)> > <落ちる(試験に)(わ5－152・学Ⅰ－358)> (左手は親指)	北海道	ア	左手4本と親指の間から立てた右手を下に下げる	<不合格> ア アレンジ <合否> ● 組み合わせ	標準手話の<落ちる(試験に)>は左手親指を突き落とすような表現で強く見える。 <合格>はあるので逆の動作を<不合格>に。(左手4本と親指の間から立てた右手を下に下げる) <不合格> ⇒<合格>と逆の動作 全国手話検定試験で「合否判定」など使うので、合わせて検討。 <合否> ⇒<合格>に続けて<不合格> ※北海道班・関東班・北信越班・東海班・中国班・九州班の案を採用
				東北	◎	胸の前で「最高」してから、右手を下におろす		
				関東	保	指先右向きで立てた左手内側で、指先上向き手の甲外向きでの右手を下に動かす		
				北信越	△	「落選」		
				東海	ア	合格の反対の表現を使う		
				近畿	◎	下から落ちる様子		
				中国	保	落ちる		
				四国	保	/合格/の表現の右手を 上げずにおろす		
				九州	●	左手親指を4指の間から立てた右手を下へ下げる		
65	おとぎ話	子供に聞かせる伝説・昔話など。「桃太郎」「かちかち山」の類。また、比喩(ひゆ)的に、現実離れた空想的な話。	参考:<童話(新Ⅰ－77・学Ⅱ－406)>	北海道	●	「過去(前)」＋「童話」	<おとぎ話> ● 組み合わせ <怪談> ● 組み合わせ	昔の話とは限らないため、<想像B>＋<物語>とした。 <おとぎ話> ⇒<想像B>＋<物語> ※東海班・中国班②・四国班の案を採用 あわせて、「怪談」の表現も検討。 <怪談> ⇒<幽霊>＋<物語>
				東北	●	左の指文字で「お」の近くで「話す」		
				関東	◎	額の前で両手で柔らかく円を描く(空想) / 指を開いた両手を向い合せロの前で交互に前後に動かす(お話する)		
				北信越	△	「童話」		
				東海	●	想像 ＋ 物語		
				近畿	●	昔 ＋ 物語		
				中国	保	昔 ＋ 物語 空想 ＋ 物語		
				四国	●	/想像/物語		
				九州	●	昔(2回)＋説明		
66	義理堅い	人間関係の義理を大切にしておろそかにしないこと。そもそも「義理」とは、「人として守るべき道徳や倫理観」を指し、物事の正しい筋道のことを言う。「義理堅い」性格には、「真面目」「礼儀正しい」「記念日や約束事は必ず守る」などがある。(Ojii.JP)	<義理(わ5－186・学Ⅱ－423)>はあるが...	北海道	●	「モラル」＋「きちんと」	● 組み合わせ	標準手話の<きちんと>が合う。 <きちんと>を位置をずらして表すと<順調>などほかの手話になる ⇒<常識・モラル・マナー・エチケット・道徳・信義>＋<きちんと>(素早く1回) ※九州班の案を採用
				東北	●	「助けられる」＋「関係」		
				関東	●	助けてもらう / 覚えている		
				北信越		「マナー」＋「堅い」		
				東海	△	一筋にラベル追加		
				近畿	●	義理(エチケット) ＋ 硬い		
				中国	●	礼儀 ＋ きちんと		
				四国	●	/義理(Ⅱ423) / 固い		
				九州	●	道徳 ＋ きちんと		

67	異変	① 普段は見られない異常な現象・出来事、変事。 (例:「政界に異変が起こる」「暖冬異変」「異変に気付き避難する」など) ② 普通と異なり変わっていること。また、そのさま。 (例:「病状に異変を来す」)		北海道	△	「おかしい」 ラベル追加	● 組み合わせ	「状態が変だ」という意味の表現に落ち着いた。 ⇒<状態・風潮・局面・事態・加減・シチュエーション> + <変・異次元・とんでもないD> ※班の案の採用なし
				東北	●	「おかしい」 + 「違和感」		
				関東	①◎ ②保	① 天気の場合「変、異常」 ② 身体の場合「おかしい」		
				北信越	●	「いつも」 + 「違う」		
				東海	●	おかしい (わたしたちの手話P.95) + 状況 (P.411)		
				近畿	保	あごに人差し指をあてる		
				中国	●	いつも + 違う		
				四国	●	/おかしい・変だ/違和感がある/		
68	漆	漆の木に傷をつけた時、そこから分泌・浸出する樹液のことをいう。 樹液の採取は、樹齢10年以上のものを対象として行われる。10年もので1本の木から1年間で200グラム程度採れるが、これは汁碗をわずか数個ほどの量。 (香川県漆芸研究所)	No.68、69とも、地元に、職業としてかわっているろう者がおられたら、尋ねてみてください。	北海道	◎	左手指文字「う」 + 左手首に右手4本を右に引く + 人差し指を上から下へ	◎ 創作手話	漆は往復するとムラになるため、一方向に塗る。手話表現も一方向に動かすのがポイント。 ⇒3指を立てた右手指先で左手掌を前方に2回塗るように前に動かす ※北信越班(福井県)の案を採用
				東北	◎	右人差し指「傷」 + 左人差し指「傷」 + 左手握りの穴に右手人差し指を入れる様子		
				関東	◎	木 / 左手小指下で丸め(コップ)、右手人差し指(漆の汁)を繰返し上からコップの口に動かす。		
				北信越	◎	右手指文字「ル」で「塗る」の手話表現		
				東海	◎	片手を一本指(杉の木部分)、もう一方の片手を「J」 ※J=japan (漆の意味)		
				近畿	◎	木に切り込みを入れて出てくる汁を取る様子		
				中国	保	う指文字 + 染め		
				四国	ア	漆を塗るようす		
69	漆工	漆工芸(うるしこうげい)とは、漆の木の樹液である漆(うるし)を器に塗り、装飾を施して作品を作る伝統工芸。漆は固まると水をはじき、腐らない被膜を作るため、古くから生活の道具として用いられてきた。 (AI概要)		北海道	ア	①茶碗に右手4本で塗っている動作 ②「①」 + 「色々」	● 組み合わせ	<漆工> ⇒<漆(うるし)> + <製造・作る・仕事・働く・作業・工作・木工・作成・作製> <工芸品> ⇒<製造・作る・仕事・働く・作業・工作・木工・作成・作製> + <いろいろ(など)> <漆工芸品> ⇒<漆(うるし)> + <製造・作る・仕事・働く・作業・工作・木工・作成・作製> + <いろいろ(など)> ※班の案の採用なし
				東北	◎	器に塗る様子		
				関東	◎	掌手前、指先右向きの左手掌に、右手で「塗る」		
				北信越	●	上記手話 + 美術		
				東海	④●	漆工…上の漆 + 作る 漆工芸…上の漆工 + いろいろ		
				近畿	◎	おわんに漆を塗る様子		
				中国	保	うるし + 作		
				四国	ア	漆を塗るようす /仕事/		
70	キッチンカー	車両の内部に調理設備を備え、食品の調理・販売を行う移動可能な飲食店舗を指す。 固定された店舗とは異なり、場所を移動して営業することが可能で、イベント会場やオフィス街、公園などさまざまな場所で利用されている。 (ジャパンサイバー合同会社…車両などのラッピング)		北海道	●	左手「車」 + 右手指文字「き」を車にのせ手前に動かす	● 組み合わせ	文字通りの表現とした。 ⇒<料理> + <自動車> ※東北班・北信越班・東海班・中国班・四国班の案を採用
				東北	◎	「料理」 + 「車」		
				関東	●	料理 / 運転		
				北信越	●	「調理」 + 「車」		
				東海	●	料理 (わたしたちの手話P.423) + 車		
				近畿	◎	クッキング + 車		
				中国	●	キッチン + 車		
				四国	●	/台所/車		
				九州	●	車 + K		